

陸軍、海軍、文部、逓信、司法、農林、商工、内務、外務、文書、  
（附録）

大正二年勅令第二百六十二號任用分限又ハ官等  
ノ初級階級ノ規定ヲ適用セサル文官ニ關スル件  
中改正ノ件

右謹テ上奏シ恭シク  
聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セラ  
レムコトヲ請フ

昭和十八年十月二十一日

内閣總理大臣東條英機

五〇

御  
元  
簿

大正二年勅令第二百六十二號中左ノ通改正ス

第二條 左ニ掲クル諸官ニハ高等官官等俸給令第四條ノ規定ヲ適用セス

文官任用令第三條ノ二ノ規定ニ依リ任用セララルル勅任文官

教官、技術官其ノ他特別ノ學術技藝ヲ要スル文官

學校長

情報局情報官

外務省調査官

勅任ノ外交官及領事官

大正十四年勅令第百二號、昭和十四年勅令第四百六十六號又

ハ昭和十六年勅令第八百九十九號ニ依リ任用セララルル外交官  
及領事官

大東亞省調査官等特別任用令ニ依リ任用セララルル外交官及領  
事官並大使館及公使館ノ調査官

昭和十四年勅令第六百八十三號ニ依リ任用セララルル領事官  
内務省調査官

神祇院ノ副總裁及調査官

陸軍司政官

海軍司政官

奏任ノ文部省教學官

厚生省協和官

軍事保護院ノ副總裁及事務官

大東亞省調査官

奏任ノ軍需省部長、軍需省軍需官及軍需省軍需監理官

企業整備本部回收官

鐵道監

鐵道官

朝鮮總督府調査官

臺灣總督府調査官

警視廳勞務官、北海道廳勞務官及地方勞務官

附則